

## 議 事 録 確 認

2017年度「ライフサイクルの深度化」に基づく異動及び、復帰に関する申し入れの交渉経過において、別紙のとおり確認した。

平成 30 年 2 月 10 日

東日本旅客鉄道株式会社大宮支社  
総務部勤労担当部長 原 潔



東日本旅客鉄道労働組合大宮地方本部  
業 務 部 長 高橋 孝一



[別 紙]

(組 合) 「ライフサイクルの深度化」施策の目的・内容が周知されず、施策の対象であることを知らない組合員や説明できない管理者がいる実態に踏まえて、施策の目的・内容を説明できる体制とすること。また、面談等で丁寧に本人希望を把握するとともに、対象者への周知を図ること。

(会 社) 「ライフサイクルの深度化」については、覚書等を踏まえ進めてきているところであり、施策の趣旨については改めて周知していく考えである。なお、異動時期及び箇所については、社員の転勤希望等を前広に把握するとともに、生活設計に必要な配慮は行う。そのうえで、各駅・区所における特徴や要員事情等も総合的に勘案したうえで配置する。

(組 合) 大宮支社で開催されていた意見交換会が、職場で開催されるように変更した経緯を明らかにすること。また、スケジュールが対象者に伝わらず、参加できなかった対象者がいたため、全員の意見を集約できるよう改善を図ること。

(会 社) 意見交換会については、社員の意見等を踏まえ開催している。今後も日程調整等を考慮しながら必要により計画していく考えである。

(組 合) 実施後に問題点が発生した時は速やかに改善に向けて取り組むこと。

(会 社) 問題は生じないと考えているが、具体的に提起があれば「労使間の取扱いに関する協約（平成 27 年 10 月 1 日締結）」に則り取り扱っていく。